

# 第7章

## 資金管理

第7章では、資金計算について2区分式や3区分式の資金繰り表を作成する問題が用意されています。資金増減原因を調べる問題やキャッシュ・フロー計算書を確認する問題も用意されているので、あわせて練習しましょう。資金会計は、検定試験でも重要な論点になっています。

個別論点と年次決算

第1章

会計データの新規作成

第2章

製造業における原価情報

第3章

財務構造の分析

第4章

収益構造の分析

第5章

短期利益計画と予算管理

第6章

● 資金管理

第7章

基幹業務の管理システム

第8章

ANSWER

解答

## 17. 資金繰り表の作成と資金の増減原因

企業は、短期の経営計画にもとづいて利益計画（年度予算）を立てます。しかし、販売計画や収益予算は、収入のタイミングと一致していません。そこで、これらの損益予算を現金の収支バランスからもう一度考えることが必要となります。これが資金計画（資金繰り）です。

## (1) 実績資金繰り表の作成

資金繰り表とは、前月から繰り越された資金（月初の資金残高）に収入を加え、支出を差し引いて次月に繰り越す資金（月末の資金残高）を計算する表です。資金の動きがわかりやすく表示されています。

資金繰り表には、資金をどのような活動によって分類するかによって、いくつかの形式があります。ここでは、「経常収支」と「その他の収支」による2区分形式の資金繰り表と「営業活動」、「投資活動」、及び「財務活動」による3区分形式の資金繰り表を作成してみましょう。

## 問題 7-1

全経2級 日商2級

当社は、4月1日に¥5,000,000の資金を元手に設立しました。下記の4月末の財務諸表にもとづいて、設問で指示された実績資金繰り表を作成しましょう。

## 【資料】

4月の貸借対照表						(単位：円)
資 産	現 金 預 金	1,709,140	負 債	買 掛 金	2,322,000	
	売 掛 金	6,919,600		短 期 借 入 金	300,000	
	商 品	555,000		負 債 合 計	2,622,000	
	車 両	2,000,000	純 資 産	資 本 金	5,000,000	
	備 品	500,000		剰 余 金	4,024,240	
	減価償却累計額	△ 37,500		純 資 産 合 計	9,024,240	
資 産 合 計		11,646,240	負 債 ・ 純 資 産 合 計		11,646,240	

## 取引の内訳

掛売上	15,777,600 円	売掛金の回収	8,858,000 円
掛仕入	11,121,000 円	買掛金の支払	8,799,000 円
人件費の支払	290,000 円	車両・備品の購入	2,500,000 円
営業経費の支払	855,860 円	借入金の借入	300,000 円
利息の支払	4,000 円		

※ 仕入高、売上高は、すべて掛取引とします。

※ 経費、固定資産、掛代金の支払は、すべて現金預金とします。

4月の損益計算書			(単位：円)
売上高			15,777,600
売上原価			
期首商品棚卸高	0		
当期商品仕入高	11,121,000		
期末商品棚卸高	555,000		10,566,000
売上総利益			5,211,600
販売費及び一般管理費			
人件費	290,000		
減価償却費	37,500		
その他の経費	855,860		1,183,360
営業利益			4,028,240
営業外費用			
支払利息			4,000
経常利益			4,024,240
当期純利益			4,024,240

※ 減価償却費は 37,500 円です。

※ 4月の月末商品棚卸高は 555,000 円です。

#### 4月の資金の収入・支出に関連する事項について

現金売上高	0 円	経常収支	(経常収入) (経常支出) (経常支出) (経常支出) (経常支出)
現金仕入高	0 円		
売掛金回収額	8,858,000 円		
買掛金支払額	8,799,000 円		
人件費支払額	290,000 円		
その他の経費支払額	855,860 円		
営業外費用支払額	4,000 円	その他の収支	(設備等購入支出) (財務収入)
車両・備品購入額	2,500,000 円		
借入金借入額	300,000 円		
月初現金残高(4月)	5,000,000 円		
月末現金残高(4月)	1,709,140 円		

#### 設問

「経常収支の区分」と「その他の収支」による2区分形式の資金繰り表を作成しましょう。

解答欄

実績資金繰り表					(単位：円)	
資金繰り項目				4 月		
前月現預金残高				(	5,000,000)	
経 常 収 支	経 常 収 入	現金売上	(	)		
		売掛金回収	(	)		
		手形回収	(	)		
		受取利息	(	)		
		その他の経常収入	(	)		
		計	(	)		
	経 常 支 出	現金仕入	(	)		
		買掛金支払	(	)		
		支払手形決済	(	)		
		人件費	(	)		
		営業経費	(	)		
		支払利息	(	)		
		その他の経常支出	(	)		
	計		(	)		
	経常収支差額			(	)	
そ の 他 の 収 支	そ の 他 の 収 入	借入金収入	(	)		
		設備等売却収入	(	)		
		その他	(	)		
		計	(	)		
	そ の 他 の 支 出	借入金返済	(	)		
		設備等取得支出	(	)		
		その他	(	)		
		計	(	)		
	その他の収支差額			(	)	
	当月収支差額			(	)	
次月繰越現預金残高			(	)		

Advice

経常収支の区分には、企業の営業活動で経常的に発生する資金の増減項目を表示します。たとえば経常収入には現金売上高、売掛金回収額等が表示され、経常支出には現金仕入高、買掛金支払額、人件費支払額、営業経費支払額、支払利息額等が表示されます。

また、その他の収支では、経常収支以外の資金の増減項目である資金の借り入れや借入金の返済、設備等の取得や売却等による現金の増減項目が記入されます。

## 問題 7-2

全経 2級

問題7-1の資料を利用して、「営業活動」、「投資活動」、及び「財務活動」による3区分形式の資金繰り表を作成しましょう。

### 解答欄

4月の資金繰り表

(単位：円)

資金繰り項目		4月
経常収支	現金売上	( )
	売掛金回収	( )
	営業外収入	( )
	経常収入合計 ①	( )
	現金仕入	( )
	買掛金支払	( )
	人件費支払	( )
	営業経費支払	( )
	営業外費用	( )
	経常支出合計 ②	( )
	経常収支過不足 ③ (①－②)	( )
設備等収支	設備等売却収入	( )
	設備等収入合計 ④	( )
	設備等購入支出	( )
	設備等支出合計 ⑤	( )
	設備等収支過不足 ⑥ (④－⑤)	( )
財務収支	借入金借入	( )
	財務収入合計 ⑦	( )
	借入金返済	( )
	財務支出合計 ⑧	( )
	財務収支過不足 ⑨ (⑦－⑧)	( )
収支過不足合計 ⑩ (③+⑥+⑨)		( )
月初現金残高 ⑪		5,000,000
月末現金残高 ⑫ (⑩+⑪)		( )

### Advice

経常収支は、経営活動から経常的に得られる収入および支出項目を記入します。設備等の収支には、経常的な収支以外の収入および支出のうち、設備などの臨時的な収支、決算関係の支出項目を記入します。最後に、財務収支には、金融機関からの借り入れや返済等の収支項目を記入します。

問題 7-3

日商 2級

5月末の貸借対照表と損益計算書が下記の通り集計された場合、4月、5月の実績資金繰り表を作成してみましょう。ただし、「経常収支の区分」と「その他の収支」による2区分形式の資金繰り表とします。なお、売上と仕入は掛取引、その他はすべて現金預金で決済しています。4月の資金繰り表は問題7-1のものをを用いることとします。

【資料】

5月の貸借対照表				
(単位：円)				
勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現金預金	1,709,140	14,017,400	12,684,400	3,042,140
売掛金	6,919,600	14,315,600	13,217,400	8,017,800
商品	555,000	2,368,000	555,000	2,368,000
車両	2,000,000	0	0	2,000,000
備品	500,000	800,000	0	1,300,000
減価償却累計額	△ 37,500	0	49,500	△ 87,000
資産合計	11,646,240	31,501,000	26,506,300	16,640,940
買掛金	2,322,000	10,544,000	12,385,000	4,163,000
短期借入金	300,000		800,000	1,100,000
資本金	5,000,000	0	0	5,000,000
剰余金	4,024,240		2,353,700	6,377,940
負債・純資産合計	11,646,240	10,544,000	15,538,700	16,640,940

5月の損益計算書				
(単位：円)				
勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売上高	15,777,600	0	14,315,600	30,093,200
売上原価				
期首商品棚卸高	0	0	0	
当期商品仕入高	11,121,000	12,385,000	0	23,506,000
合計	11,121,000	12,385,000	0	23,506,000
期末商品棚卸高	555,000	555,000	2,368,000	2,368,000
売上原価	10,566,000	12,940,000	2,368,000	21,138,000
売上総利益	5,211,600		3,743,600	8,955,200
販売費一般管理費				
人件費	290,000	583,000	0	873,000
減価償却費	37,500	49,500	0	87,000
その他の経費	855,860	744,400	0	1,600,260
販売費一般管理費計	1,183,360	1,376,900	0	2,560,260
営業利益	4,028,240		2,366,700	6,394,940
営業外費用				
支払利息	4,000	13,000	0	17,000
経常利益	4,024,240		2,353,700	6,377,940
当月利益	4,024,240		2,353,700	6,377,940

# 解答欄

実績資金繰り表

(単位：円)

資金繰り項目			4 月	5 月
前月現預金残高			( )	( )
経常収支	経常収入	現金売上	( )	( )
		売掛金回収	( )	( )
		手形回収	( )	( )
		受取利息	( )	( )
		その他の経常収入	( )	( )
		計	( )	( )
	経常支出	現金仕入	( )	( )
		買掛金支払	( )	( )
		支払手形決済	( )	( )
		人件費	( )	( )
		営業経費	( )	( )
		支払利息	( )	( )
		その他の経常支出	( )	( )
	計	( )	( )	
	経常収支差額		( )	( )
その他の収支	その他の収入	借入金収入	( )	( )
		設備等売却収入	( )	( )
		その他	( )	( )
		計	( )	( )
	その他の支出	借入金返済	( )	( )
		設備等取得支出	( )	( )
		その他	( )	( )
		計	( )	( )
	その他の収支差額		( )	( )
当月収支差額		( )	( )	
次月繰越現預金残高		( )	( )	

## Advice

5月の取引の内訳を整理すれば、下記の通りです。

掛売上	14,315,600 円	売掛金の回収	13,217,400 円
掛仕入	12,385,000 円	買掛金の支払	10,544,000 円
人件費の支払	583,000 円	車両・備品の購入	800,000 円
営業経費の支払	744,400 円	借入金の借入	800,000 円
利息の支払	13,000 円		

問題 7-4

全経 2 級

問題 7-3 に示した 5 月末の貸借対照表と損益計算書にもとづいて、4 月、5 月の実績資金繰り表を作成してみましょう。ただし、「営業活動」、「投資活動」、及び「財務活動」による 3 区分形式の資金繰り表とします。なお、売上と仕入は掛取引、その他はすべて現金預金で決済しています。

解答欄

資金繰り表		(単位：円)	
資金繰り項目		4 月	5 月
経常収支	現金売上	( )	( )
	売掛金回収	( )	( )
	営業外収入	( )	( )
	経常収入合計 ①	( )	( )
	現金仕入	( )	( )
	買掛金支払	( )	( )
	人件費支払	( )	( )
	営業経費支払	( )	( )
	営業外費用	( )	( )
	経常支出合計 ②	( )	( )
	経常収支過不足 ③ (①－②)	( )	( )
設備等収支	設備等売却収入	( )	( )
	設備等収入合計 ④	( )	( )
	設備等購入支出	( )	( )
	設備等支出合計 ⑤	( )	( )
	設備等収支過不足 ⑥ (④－⑤)	( )	( )
財務収支	借入金借入	( )	( )
	財務収入合計 ⑦	( )	( )
	借入金返済	( )	( )
	財務支出合計 ⑧	( )	( )
	財務収支過不足 ⑨ (⑦－⑧)	( )	( )
収支過不足合計 ⑩ (③+⑥+⑨)		( )	( )
月初現金残高 ⑪		5,000,000	( )
月末現金残高 ⑫ (⑩+⑪)		( )	( )

Advice

5 月の取引のうち、「投資活動」、「財務活動」は、下記の通りです。

車両・備品の購入            800,000 円 … 「投資活動」による設備等支出

借入金の借入                800,000 円 … 「財務活動」による財務収入

4 月の 3 区分形式の資金繰り表は、問題 7-2 で確認できます。

## 問題 7-5

全経 2級

下記のA社における7月の月次決算資料（実績貸借対照表と実績損益計算書）をもとにして、設問の条件に従って、7月の実績資金繰り表を作成してみましょう。

### 【資料】

＜A社＞7月の実績貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現金・預金	2,888,000	19,095,000	17,855,000	4,128,000
売掛金	7,595,000	24,150,000	18,595,000	13,150,000
商品	1,112,000	1,312,000	1,112,000	1,312,000
備品	4,000,000	200,000		4,200,000
減価償却累計額	▲ 480,000		240,000	▲ 720,000
資産合計	15,115,000	44,757,000	37,802,000	22,070,000
買掛金	6,177,000	10,946,000	15,638,000	10,869,000
短期借入金	2,000,000		500,000	2,500,000
資本金	4,000,000			4,000,000
利益剰余金	2,938,000		1,763,000	4,701,000
負債・純資産合計	15,115,000	10,946,000	17,901,000	22,070,000

＜A社＞7月の実績損益計算書

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売上高	69,230,000		24,150,000	93,380,000
売上原価				
期首商品棚卸高				
当期商品仕入高	46,915,000	15,638,000		62,553,000
合計	46,915,000	15,638,000		62,553,000
期末商品棚卸高	1,112,000	1,112,000	1,312,000	1,312,000
売上原価	45,803,000	16,750,000	1,312,000	61,241,000
売上総利益	23,427,000		8,712,000	32,139,000
販売費一般管理費				
人件費	6,950,000	2,310,000		9,260,000
減価償却費	640,000	240,000		880,000
営業経費	12,860,000	4,386,000		17,246,000
販売費一般管理費計	20,450,000	6,936,000		27,386,000
営業利益	2,977,000		1,776,000	4,753,000
営業外費用				
支払利息	39,000	13,000		52,000
経常利益	2,938,000		1,763,000	4,701,000
当期純利益	2,938,000		1,763,000	4,701,000

**設問 1** 「営業活動」、「投資活動」、及び「財務活動」による3区分形式の資金繰り表を作成しましょう。

- (注)・売上と仕入はすべて掛取引で、値引・返品および現金販売・現金仕入はない。
- ・売掛金の回収、買掛金の支払は、すべて預金口座への振込で行っている。
  - ・人件費・営業経費・利息の支払は、すべて現金または預金で行っている。
  - ・備品は、現金で購入している。

**解答欄**

<A 社> 7 月の資金繰り表			(単位：円)
資金繰り項目		7 月	
経常収支	現金売上	(	)
	売掛金回収	(	)
	営業外収入	(	)
	経常収入合計	(	)
	現金仕入	(	)
	買掛金支払	(	)
	人件費支払	(	)
	営業経費支払	(	)
	営業外費用	(	)
	経常支出合計	(	)
	経常収支過不足	(	)
設備等収支	設備等売却収入	(	)
	設備等収入合計	(	)
	設備等購入支出	(	)
	設備等支出合計	(	)
	設備等収支過不足	(	)
財務収支	借入金借入	(	)
	財務収入合計	(	)
	借入金返済	(	)
	財務支出合計	(	)
	財務収支過不足	(	)
収支過不足合計		(	)
月初現金残高		(	)
月末現金残高		(	)

**Advice**

この貸借対照表と損益計算書から、資金の収入・支出を抜き出して、表を完成させましょう。

＜A社＞7月の資金の収入・支出に関連する事項 (単位：円)

売掛金回収額	( )	(経常収入)
買掛金支払額	( )	(経常支出)
人件費支払額	( )	(経常支出)
その他の経費支払額	( )	(経常支出)
営業外費用支払額	( )	(経常支出)
車両・備品購入額	( )	(設備等購入支出)
借入金借入額	( )	(財務収入)

問題 7-6

全経2級

問題 7-5 の月次決算にもとづいて、資金の増減原因から7月の資金計算を確認して7月の資金増減原因表を作成してみましょう。

解答欄

＜A社＞7月の資金増減原因

(単位：円)

		資金増加	資金減少
損益の状況	利益	( )	( )
非資金費用	減価償却	( )	( )
売掛金の状況	増加	( )	( )
買掛金の状況	増加	( )	( )
在庫の状況	増加	( )	( )
設備等の状況	増加	( )	( )
借入金の状況	増加	( )	( )
合計		( )	( )
資金の増減結果		( )	( )

Advice

- 売掛金・・・月末残高 ￥13,150,000 － 月初残高 ￥7,595,000 ＝
- 買掛金・・・月末残高 ￥10,869,000 － 月初残高 ￥6,177,000 ＝
- 商品・・・？
- 備品・・・？
- 短期借入金 ？
- 当期純利益 ￥1,763,000
- 減価償却費の額 ￥240,000

資金の増加原因は、「買掛金の増加」「利益の発生」「借入金の増加」があげられます。また、資金の減少原因は、「売掛金の増加」「設備の購入」そして「在庫の増加」があげられます。商品を仕入れて販売されない売れ残りは、在庫になります。在庫の増加は、資金を減少させることになります。

また、減価償却費は、非資金費用とも呼ばれます。減価償却は、費用を固定資産の使用期間に配分する手続きなので、資金の支払をとまなわない費用という性格があります。

問題 7-7

全経2級

株式会社カルロの下記の月次決算にもとづいて、資金の増減原因から4月の資金計算を確認して4月の資金増減原因表を作成してみましょう。

【資料】

4月の実績貸借対照表			(単位：円)
勘定科目	3月残高	4月残高	
現金預金	8,075,751	9,270,268	
売掛金	9,726,300	6,526,982	
商品	2,281,250	3,432,775	
他流動資産	6,669	0	
車両	2,350,000	2,350,000	
備品	850,000	850,000	
減価償却累計額	－ 1,575,669	－ 1,618,848	
差入保証金	2,000,000	2,000,000	
資産合計	23,714,301	22,811,177	
買掛金	7,900,600	5,715,412	
未払金	1,046,600	1,031,900	
預り金	283,491	284,481	
長期借入金	1,645,334	1,520,503	
資本金	10,000,000	10,000,000	
剰余金	2,838,276	4,258,881	
負債・純資産合計	23,714,301	22,811,177	

4月の実績損益計算書			(単位：円)
勘定科目	当月借方	当月貸方	
売上高		8,584,138	
売上原価			
期首商品棚卸高	2,281,250		
当期商品仕入高	5,715,412		
合計	7,996,662		
期末商品棚卸高	0	3,432,775	
売上原価	7,996,662	3,432,775	
売上総利益		4,020,251	
販売費一般管理費			
人件費	1,659,695		
減価償却費	43,179		
その他の経費	892,659		
販売費一般管理費計	2,595,533		
営業利益		1,424,718	
営業外費用			
支払利息	4,113		
経常利益		1,420,605	
当月純利益		1,420,605	

### 解答欄

#### 4月の資金増減原因

(単位：円)

		資金増加	資金減少
損益の状況	( )	( )	( )
非資金費用	( )	( )	( )
売掛金の状況	( )	( )	( )
買掛金の状況	( )	( )	( )
在庫の状況	( )	( )	( )
設備等の状況	( )	( )	( )
借入金の状況	( )	( )	( )
他の流動資産	立替金の減少	6,669	
未払金	減少		14,700
預り金	増加	990	
合計		( )	( )
資金の増減結果		( )	( )

### Advice

現金預金は、3月末が¥8,075,751です。4月の資金増加額¥1,194,517を加算して、4月末の残高は、¥9,270,268となります。

## 問題 7-8

全経 2級

169 ページの MBO 社における8月の実績貸借対照表および実績損益計算書から、解答欄の「実績資金繰り表」および「資金増減原因表」を作成し、下記の設問1と設問2に解答しましょう。

### 設問 1

8月の資金繰り表について、次の文章中の【 】内の「ア」と「イ」のうち、正しいものを選び、(1)～(5)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・経常収入合計は、(1)【ア. 16,875,000 円 イ. 16,362,000 円】である。
- ・経常支出合計は、(2)【ア. 16,435,000 円 イ. 16,848,000 円】である。
- ・経常収支過不足は、(3)【ア. 過剰 イ. 不足】である。
- ・財務収支過不足は、(4)【ア. 過剰 イ. 不足】である。
- ・収支過不足合計は、(5)【ア. 27,000 円 イ. 13,000 円】過剰である。

設問 2

8月の資金増減原因について、次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(6)～(10)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・資金の増加原因を金額の大きい順に列举すると、(6)，(7)，(8) があげられる。
- ・資金の減少原因を金額の大きい順に列举すると、(9)，設備の購入，(10) があげられる。

語 群

ア	利益の発生	イ	損失の発生	ウ	売掛金の増加
エ	売掛金の減少	オ	買掛金の減少	カ	買掛金の増加
キ	非資金費用	ク	設備の処分	ケ	在庫の増加
コ	在庫の減少	サ	借入金の増加	シ	借入金の返済

解答欄

<MBO社>8月の実績資金繰り表		
(単位：円)		
資金繰り項目		8 月
経 常 収 入	現 金 売 上	( )
	売 掛 金 回 収	( )
	営 業 外 収 入	( )
	経常収入合計	( )
	現 金 仕 入	( )
	買 掛 金 支 払	( )
	人 件 費 支 払	( )
	営 業 経 費 支 払	( )
	営 業 外 費 用	( )
	経常支出合計	( )
設 備 等 収 支	設備等売却収入	( )
	設備等購入支出	( )
	設備等収支過不足	( )
財 務 収 支	借 入 金 借 入	( )
	借 入 金 返 済	( )
	財務収支過不足	( )
収 支 過 不 足 合 計		( )
月 初 現 金 残 高		( )
月 末 現 金 残 高		( )

<MBO社>8月の資金増減原因表		
(単位：円)		
	資金増加	資金減少
損 益 の 状 況	( )	( )
非 資 金 費 用	( )	( )
売掛金の状況	( )	( )
買掛金の状況	( )	( )
在 庫 の 状 況	( )	( )
設備等の状況	( )	( )
借入金の状況	( )	( )
合 計	( )	( )
資金の増減結果	( )	( )

設問 1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

設問 2

(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

【8月の実績貸借対照表および実績損益計算書】

＜MBO社＞8月の実績貸借対照表				
(単位：円)				
勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現金・預金	3,246,000	16,875,000	16,848,000	3,273,000
売掛金	8,422,000	20,690,000	16,362,000	12,750,000
商品	1,160,000	1,240,000	1,160,000	1,240,000
備品	2,600,000	200,000		2,800,000
減価償却累計額	△ 390,000		130,000	△ 520,000
資産合計	15,038,000	39,005,000	34,500,000	19,543,000
買掛金	6,274,000	9,597,000	12,262,000	8,939,000
短期借入金	2,100,000		300,000	2,400,000
資本金	5,000,000			5,000,000
利益剰余金	1,664,000		1,540,000	3,204,000
負債・純資産合計	15,038,000	9,597,000	14,102,000	19,543,000

＜MBO社＞8月の実績損益計算書				
(単位：円)				
勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売上高	57,260,000		20,690,000	77,950,000
売上原価				
期首商品棚卸高				
当期商品仕入高	36,262,000	12,262,000		48,524,000
合計	36,262,000	12,262,000		48,524,000
期末商品棚卸高	1,160,000	1,160,000	1,240,000	1,240,000
売上原価	35,102,000	13,422,000	1,240,000	47,284,000
売上総利益	22,158,000		8,508,000	30,666,000
販売費一般管理費				
人件費	6,842,000	2,560,000		9,402,000
減価償却費	390,000	130,000		520,000
営業経費	13,223,000	4,265,000		17,488,000
販売費一般管理費計	20,455,000	6,955,000		27,410,000
営業利益	1,703,000		1,553,000	3,256,000
営業外費用				
支払利息	39,000	13,000		52,000
経常利益	1,664,000		1,540,000	3,204,000
当期純利益	1,664,000		1,540,000	3,204,000

- (注)・売上と仕入はすべて掛取引で、値引・返品および現金販売・現金仕入はない。
- ・売掛金の回収、買掛金の支払は、すべて預金口座への振込で行っている。
  - ・人件費・営業経費・利息の支払は、すべて現金または預金で行っている。
  - ・備品は、現金で購入している。

問題 7-9

日商 2 級

次の資料に従って、実績資金繰り表に関する下記の設問に答えましょう。

【資料】

実績資金繰り表					(単位：千円)
月 度		4 月	5 月	6 月	
前月現預金残高		1,960	2,330	2,582	
経 常 収 入	経 常 収 入	現金売上	90	85	210
		売掛金回収	2,250	1,900	1,200
		手形回収			
		受取利息			
		その他の経常収入	8	7	8
		計	2,348	1,992	1,418
	経 常 支 出	現金仕入	100	180	220
		買掛金支払	990	1,100	1,200
		支払手形決済			
		人件費	550	580	1,080
		営業経費	660	200	160
		支払利息	8	10	16
		その他の経常支出		400	0
		計	2,308	2,470	2,676
	経常収支差額		40	▲ 478	▲ 1,258
そ の 他 の 収 入	そ の 他 の 収 入	借入金収入	400	800	
		設備等売却収入			
		その他			
		計	400	800	
	そ の 他 の 支 出	借入金返済	70	70	150
		設備等取得支出			240
		その他			
		計	70	70	390
	その他の収支差額		330	730	▲ 390
	当月収支差額		370	252	▲ 1,648
次月繰越現預金残高		2,330	2,582	934	

留意事項

- (1) 4月には、販売促進のために多額の広告宣伝費の支出があった。
- (2) 5月には未払税金として計上してあった400千円の納付があった。
- (3) 4月、5月には、Y銀行から追加借り入れを行なった。この借入金の返済は、利息を含めて翌月末から開始している。
- (4) 6月には、賞与の支給と備品240千円の購入があった。
- (5) 得意先Kの経営不振により、5月、6月の売掛金回収額が予定より下回っている。

### 設問

資金の状況を説明した下記の各文章の空欄にもっとも適当と思われる語句を下記の語群から選んで、解答欄に記号で答えましょう。

- (1) 4月の借入金収入は、4月の ① による経常収支の減少と翌月の ② による資金の減少を補てんするためのものである。

ア 設備の購入	イ 営業費の増加	ウ 借入金の返済	エ 人件費の増加
オ 手形の支払	カ 売掛金回収額	キ 税金の納付	ク 賞与の支払

- (2) 経常収入が他の月と比べてもっとも少ない月は ③ で、その原因は ④ の減少によるものである。

ア 現金売上	イ 売掛金回収額	ウ その他の収入	エ 手形の回収
オ 4月	カ 5月	キ 6月	ク 総売上高

- (3) その他の収支差額が他の月と比べてもっとも多い月は ⑤ で、その原因は ⑥ があつたからである。

ア 4月	イ 5月	ウ 6月	エ 借入金
オ 掛回収額の増加	カ 設備の売却	キ 借入金返済	ク 設備の購入

- (4) 経常収支差額を悪くしている原因の1つには、4月の営業経費の増額、5月の ⑦ がある。そして、月ごとに売掛金回収額が減少傾向にあり、同時に ⑧ が増加傾向にあるからである。

ア その他の経常支出	イ 税金の納付	ウ 営業経費の増加	エ 現金売上
オ 利息の支払	カ その他の経常収入	キ 買掛金支払額	ク 設備等の取得

- (5) 6月の当月収支差額がマイナスになった理由には、売掛金回収額の減少による経常収入の落ち込みがあつたほか、 ⑨ の増加や他の月には発生していない ⑩ によって資金支出の増加があつたからである。

ア 人件費支出	イ 現金売上	ウ 設備の購入	エ 借入金返済
オ 現金仕入	カ 借入金	キ 買掛金仕入	ク 設備の売却

### 解答欄

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

18. キャッシュ・フロー計算書

問題 7-10（進んだ学習・全経 1 級の出題）

全経 1 級

ふくおか工業株式会社の第×7 期（10 月 1 日より 9 月 30 日）の財務諸表を参考にして、キャッシュ・フロー計算書を完成し、設問に答えましょう。

なお、本間におけるキャッシュ・フロー計算書は間接法で作成しています。

貸借対照表			(単位：千円)
勘定科目	第×6 期	第×7 期	
資産の部			
〔流動資産〕	5,520	5,790	
現金預金	3,720	3,840	
受取手形	600	700	
売掛金	500	600	
棚卸資産	700	650	
〔固定資産〕	2,000	2,100	
建物・構築物	1,800	1,720	
機械装置	100	80	
無形固定資産	100	300	
資産合計	7,520	7,890	
負債の部			
〔流動負債〕	1,750	1,700	
支払手形	400	300	
買掛金	450	400	
短期借入金	900	1,000	
〔固定負債〕	600	700	
長期借入金	600	700	
負債合計	2,350	2,400	
資本の部			
資本金	4,000	4,000	
利益準備金	400	400	
任意積立金	100	100	
繰越利益剰余金	670	990	
純資産合計	5,170	5,490	
負債及び純資産合計	7,520	7,890	

※ 当期に固定資産の購入・売却は行っていない。

損益計算書

(単位：千円)

勘定科目	第×7期
営業収益	22,200
営業費用	21,500
営業利益	700
営業外収益	100
営業外費用	100
経常利益	700
特別利益	0
特別損失	0
税引前当期純利益	700
法人税、住民税及び事業税	380
当期純利益	320

**設問 1**

ふくおか工業株式会社第×7期のキャッシュ・フロー計算書における(1)「税引前当期純利益」と(2)「売掛金増加額」に該当する各数値について、財務諸表を参照して算定し、(3)「営業活動によるキャッシュ・フロー」、(4)「投資活動によるキャッシュ・フロー」、(5)「財務活動によるキャッシュ・フロー」を求めなさい。

**設問 2**

上記キャッシュ・フロー計算書における「フリー・キャッシュ・フロー(FCF)」を求めなさい。

**設問 3**

「現金及び現金同等物の期末残高」はいくらになるか求めなさい。

**設問 4**

ふくおか工業株式会社の第×6期と第×7期のキャッシュ・フロー計算書を比較した場合、キャッシュ・フローの状況はどのように変化しているか。キャッシュ・フローの状況に関する次の各文章において、【       】内の「ア」「イ」のうち、正しいものを選び、(1)～(3)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・フリー・キャッシュ・フローは改善(1)【ア. されていない イ. されている】。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは(2)【ア. 増加 イ. 減少】傾向にある。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローにおいて借入金の負担は(3)【ア. 軽く イ. 重く】なっている。

キャッシュ・フロー計算書			(単位：千円)
	第×6期	第×7期	
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前当期純利益	500	( 1 )	
減価償却費	150	100	
受取手形増加額	－ 100	－ 100	
売掛金増加額	－ 130	( 2 )	
棚卸資産減少額	300	50	
支払手形減少額	－ 100	－ 100	
買掛金減少額	－ 50	－ 50	
法人税等の支払額	－ 200	－ 380	
営業活動によるキャッシュ・フロー	370	( 3 )	
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	0	0	
有形固定資産の売却による収入	0	0	
無形固定資産の取得による支出	0	－ 200	
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	( 4 )	
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増加額	100	100	
長期借入れによる収入	0	100	
財務活動によるキャッシュ・フロー	100	( 5 )	
現金及び現金同等物の増減額	470	120	
現金及び現金同等物の期首残高	3,250	3,720	
現金及び現金同等物の期末残高	3,720	( 設問3 )	

解答欄

設問 1	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	
設問 2										
設問 3										
設問 4	(1)		(2)		(3)					